

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アイデア泉田事業所		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年11月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年11月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの事を十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	週に1回のミーティング、振り返り。PDCAサイクル、太田ステージ、ティーチプログラム、PECS、ABAを導入している。	スタッフ全員の知識の向上のための外部研修、内部研修の実施。事例検討などを実施し、支援の統一を図る。PECS、ABAなどで専門的知識の向上のための勉強会の開催。
2	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているおもいますか。	全室防犯カメラ設置、送迎車にも置き去り防止ブザーを設置。すべての子供たちに様々な経験を積めるようプログラムを作成。	子供達の支援・指導の指針となるマニュアル作成。支援内容・プログラムの見直し。新たな活動への取り組み。
3	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	保護者の相談に乗り、療育内容に生かす。相談支援専門員とも連携し、保護者を支える。訪問や連携会議の実施、保護者向け講演会、茶話会親子イベントの開催。	不登校支援等、働く保護者に向けてできる事を検討し、実施していく。具体的手立てや対応策について外部機関へ提案し支援の統一を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数は適切であるか。	職員数は適切であるが管理者等特定の職員の負担が多い。	業務の細分化とAIを活用した業務軽減をおこなう。
2	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	日々の業務に追われ余裕がない。年間実施計画に含まれていない。	年間実施計画に組み込み予定を立てていき、支援の質の質の向上を図る。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	日々の業務に追われ余裕がない。年間実施計画に含まれていない。	年間実施計画に組み込み予定を立てていき、町内会等のイベント参加や自事業所でのイベントへの地域の子供の参加できる機会を作る。